



顧客成功事例

Zucchetti

EDB と連携し、効率的な
電子請求書アーカイブを導入





顧客： ZUCCHETTI

Gregorio Piccoli
CTO at Zucchetti

当社の取引量は常に安定しており、業務が継続しています。そのため、データベース作業中でもバックアップおよびリカバリが可能なソリューションが求められていました。

Gregorio Piccoli
CTO at Zucchetti

概要

1日に最大 100 万件の電子請求書を処理するイタリアの ERP 提供企業は、デジタルデータの保存において確実なソリューションを求めていた

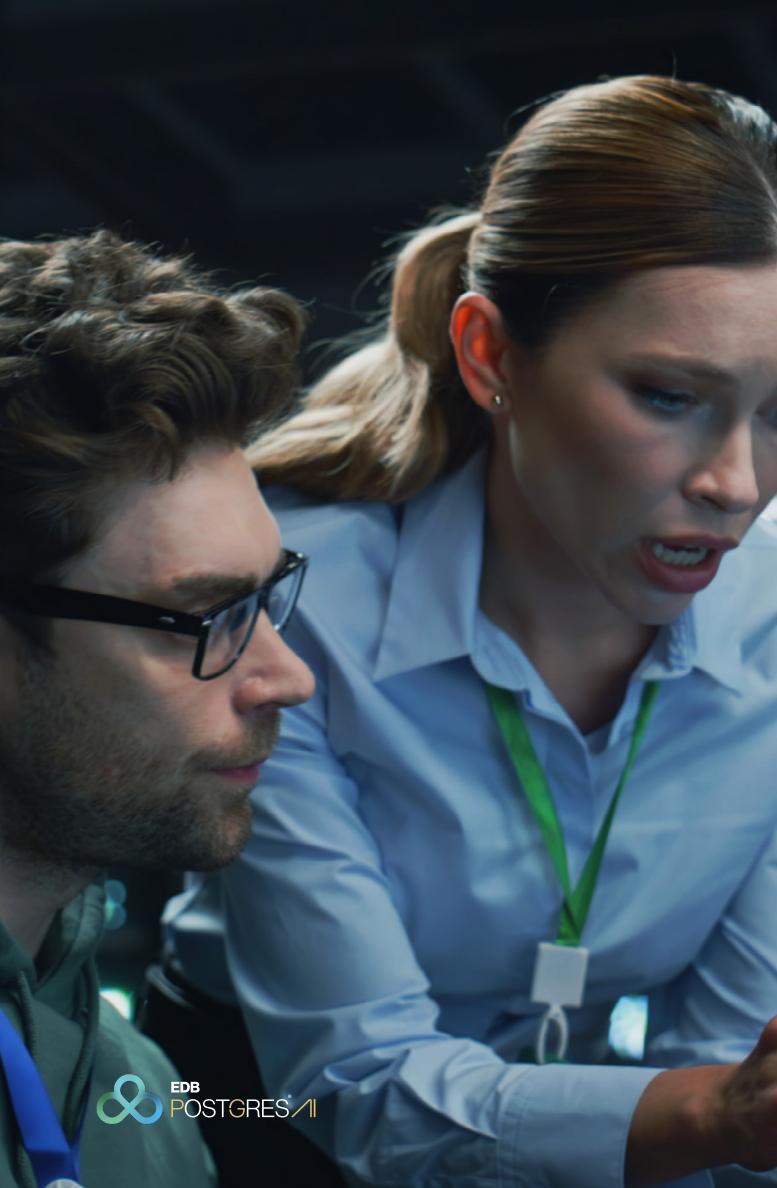
Zucchetti 社の CTO、Gregorio Piccoli 氏にとって、データセキュリティと災害復旧策は単なる形式的な義務ではなく、法的な要件であり、70 万社以上の顧客の財務的安定に直結する重要なテーマです。Zucchetti グループの年間収益は 20 億ユーロに達し、従業員は 9,000 人、その中で 2,000 人が研究開発に専念しています。

イタリアで事業を展開する Zucchetti は、すべての請求書を電子的に処理し、承認のために省庁に送る前に、法令に従って手続きを実施する必要があります。その後、記録は 10 年間厳密に保管されなければなりません。同社が 1 日に約 5 万件の取引を行っていた時でも、これは簡単な課題ではありませんでしたが、事業が拡大するにつれて、より深刻で緊急性の高い問題に変わりました。



「現在、我が社のソフトウェアによる請求書発行数は 1 日で 100 万件に達しています」と Piccoli 氏は述べています。「我が社はイタリア国内で最大の電子請求書処理機関であり、国内総生産の 13~15% が我が社のシステムを通じています。これらのデータの一部でも失われると、お客様に財務上のトラブルが生じる可能性があります。」

毎日膨大な取引が処理され、クラウドベースのアーキテクチャ特有の要件が存在する中で、Zucchetti は汎用リカバリーツールによるパフォーマンス問題をもはや受け入れられないと迅速に認識しました。そこで、EDB 社が解決策を提供することになりました。



パフォーマンスギャップの解消

PostgreSQL を適切に導入し、データベース管理の拡張性を実現した後でも、Piccoli 氏と Zucchetti グループには依然として重要な課題が残っていました。従来のバックアップおよびリカバリーソリューションは単一のシステムにのみ対応しており、企業の複雑なPostgres ベースのアーキテクチャに対する詳細なコントロールや可視性が不足していました。

「当社では、様々な種類のバックアップに特化したシステムを使用していましたが、Postgres 専用ではありませんでした。そのため、単一システムのバックアップにしか対応できず、複数のバックアップ作業は可能でしたが、特定の領域で正しく行われたかを確認するには非常に長い時間がかかっていました。 例えば、サブシステムや主要システム以外に保存されたデータの安全性を確認するには、最長で2か月かかるようになりました。」

Piccoli 氏は新たな課題の解決策を検討する中で、EDB 社の Barman を導入することで、バックアッププロセスをより効率的かつ包括的に管理できることに気づきました。この向上した管理機能によって、データベースのセキュリティを正確に確認し制御できるようになり、Zucchetti は自信を持って成長を続けられるようになりました。

Barman を利用することで、常に状況を把握し、バックアップの成功を即座に確認できるようになりました。これは Postgres に特化したより包括的なソリューションで、単一のシステムだけでなく、複数のシステムにおけるセキュリティやリストアの検証が可能です。さらに、事前にリストアのシミュレーションを実施し、問題がないことを確認した上で次のステップに進むことができます。

取引量が持続的に増加する中で、コスト構造の重要性が一層高まっている

データベースのバックアップとリカバリにかかる費用は常に重要な考慮事項ですが、特にデータ量が増える際にはその重要性がさらに増します。取引量が増加し続けるZucchettiグループにとって、バックアップコストをデータ量だけに基づいて支払うのは持続可能な方法ではありません。

Piccoli 氏は、EDB の Barman や 2ndQuadrant を用いたカスタムソリューションによる具体的なコスト削減額を示せませんでしたが、コスト構造の違いがもたらす影響は非常に大きいと述べています。従来のバックアップ手法では、データの量や変換に基づいて料金が決まっていましたが、EDB のサービスでは、個別のプロセスではなくシステム全体に対して料金を支払うことができます。

「昔は、データ量に基づく支払いなど、いくつかのコストが組み合わさっていて、かなりの額でした。今は、データ量ではなくシステムそのものに対してのみ費用を支払っています。」

Piccoli 氏は、EDB のソリューションがコスト面で優れていることは、同社のニーズに的確に応えるソリューションを導入できた結果、得られる追加の利点であると強調しています。つまり、以前のソリューションが安価であったとしても、長期的には適切ではなかったと述べています。

単一システムのソリューションは、仮想マシンや小規模なデータベースには適していますが、私たちのような高トランザクション環境では、業務が常に稼働しているため、バックアップを取ったり確認したりするために作業を中断する余裕がありません。そのため、データベースが稼働している間にバックアップと復旧が行える解決策が必要とされました。



スケーラビリティとは将来への備えを意味する

現時点でのデータボリュームに対して安全に管理し、バックアップする能力が大幅に強化されたことに加え、Zucchetti が EDB と連携することで、将来予想されるあらゆる課題に対応できるという大きな自信を組織にもたらしました。これには、規制の変更や、追加のシステムが必要となる場合でも、近い将来にデータベースの容量が飛躍的に増加する可能性なども含まれます。

規制の最新動向に対応するにあたり、Piccoli 氏は変更が生じる可能性についてのみ言及し、その中には現在の 10 倍に及ぶ記録管理の負担が発生する場合もあると示唆しました。EDB によるソリューションと Postgres 専門家による継続的なサポートがあることで、同氏は十分に対処できると確信しています。

「8 年前、私たちは毎日 100 万件の請求書に対応することができませんでしたが、現在ではそれをはるかに上回る件数に対応できる能力を有しております、今後想定される事態にも対処可能な国内でも数少ない体制を整えております。」

8 年前には毎日 100 万件の請求書を処理することができませんでしたが、現在ではそれを含め、さらに大きな件数にも対応できる体制が整っております。

Gregorio Piccoli
CTO at Zucchetti



EDB Postgres AIについて

EDB Postgres AIは、業界初のオープンでエンタープライズグレードの主権型データおよびAIプラットフォームであり、安全性、コンプライアンス、拡張性に優れた環境を、オンプレミスおよびクラウドの両方で提供します。グローバルパートナーネットワークによる支援のもと、EDB Postgres AIはトランザクション、分析、AIワーカロードを統合し、組織が必要な場所、時間、方法でデータとLLMを運用できるようにします。詳細につきましては、www.enterprisedb.comをご覧ください。